



令和3年度 生涯学習リレー講座「江別を知るタイムトラベル」

「江別を知るタイムトラベル」
会場/江別市民会館 2階 21号室(江別市高砂町6番地) 入場無料

講座1 令和3年11月5日(金) 18:30~20:00(先着60名/受講料無料)
「江別市の産業遺産について」
講師/北海道産業考古学会 会長 山田 大隆 氏

講座2 令和3年11月12日(金) 18:30~20:00(先着60名/受講料無料)
「馬のいた風景」
講師/株式会社江別競馬公社 代表取締役社長 齊藤 俊彦 氏

講座3 令和3年11月19日(金) 18:30~20:00(先着60名/受講料無料)
「江別の深い歴史の建造物めぐり」
講師/NHK放送文化センター 歴史民俗学推進部 小林 孝二 氏

TEL 011-381-1062 / FAX 011-382-3434
E-mail: shougai@city.ebetsu.lg.jp

講座1 「江別市の産業遺産について」

講師/北海道産業考古学会 会長 山田 大隆 氏

今年のリレー講座は、昨年コロナ禍で中断した講座の再開版です。「江別を知るタイムトラベル」をテーマに、第1回目の題目は江別市の産業遺産でした。受講者は再開を楽しみにされていたように、密にならないように定員60人に絞った会場は満席となりました。

講師の山田さんは、酪農学園大学の教授退職後も、現在北海道大学総合博物館の研究者として、長年、精力的に産業考古学分野の研究をされています。講師が強調されたのは、江別市は北海道を発展させた代表的産業が立地した場所として、貴重な産業遺産が豊富であるということです。代表的産業として、古くは石狩川の河川交通、次に酪農業、最後にレンガ製造をあげられました。



シヨンに展示され、酪農業は旧町村農場などで知ることができ、レンガ製造は現在も国内の代表的産業拠点に位置づけられていることや、北海道林木育種場旧庁舎、旧夕張鉄道車輛コレクシヨン(非公開)などが紹介されました。鉄道防風林も延長15kmにおよぶ重要な産業遺産であり、私たちはその140年の歴史を見ているとも指摘されました。

講座2

「馬のいた風景」

講師/株式会社江別競馬公社 代表取締役社長 齊藤 俊彦 氏



このように江別は産業遺産が多く現存し、個性的な街であることを詳細に語られました。今後市内の豊富な産業遺産を掘り起こして、いかにして町起こしに活用していくかが大事だと力説されました。(文責:総務委員長 齊藤 徹)



かつて市内に二千頭程いた馬についてお話いただきました。はじめに概ね昭和30年代まで、農村では田畑の耕作や農産物の出荷、製紙工場では原木の陸揚げや貯木場への運搬、市街地ではごみ・尿収集や神社祭典など生活のあらゆる場面で馬が活躍していたこと、その後の車社会の到来、農分野での機械化により馬が消えて行ったことについてお話がありました。

第2話は牛馬の売買取引をする馬喰について、個人馬主と売買するほか家畜市場で馬市(セリ)にも参加し、馬の流通を担ったこと、第3話は鞍馬競争について、昭和30年代まで盛んに行われ、馬好きの農家の人が大会に向けて練習をし、優勝旗を争ったこと、第4話は馬頭観音について、馬への慰霊のための碑が今も農村地区の各地にあり、かつては供養祭が行われていたこと、などの話でした。講師のお話は、馬を作業の担い手や資産として見るだけでなく、感謝の気持ちと愛情を持って接した人達の話でもありました。(文責:総務委員 高川一伸)



祝 谷川幸雄前会長が 令和3年度江別市文化貢献賞を受賞されました!

江別市生涯学習推進協議会で平成15年から18年にわたり会長を務められ、現在は顧問を務めていらっしゃる谷川幸雄さんが、令和3年度江別市文化貢献賞を受賞されました。令和3年11月22日(月)に表彰式が執り行われましたので、その時の写真を掲載いたします。谷川さん、おめでとうございます



講座3「江別の深い歴史の建造物めぐり」(講師/NPO法人歴史的地域資産研究機構 れきげん 技術専門員 小林孝二氏)の講座内容は次回のちらちらでのご報告します。

Lifelong learning
ら・ら・らフェスティバル
できること、やりたいことを見つけよう!

日時/2022年1月16日(日) 13:00~15:00
場所/野幌公民館 ホールほか(江別市野幌町13-6)

入場無料 申込不要

◇主催 江別市生涯学習推進協議会
◇日時 1月16日(日) 13:00~15:00
◇会場 野幌公民館 ホールほか(江別市野幌町13-6) 入場無料
◇申込 申込は不要です。直接会場へお越しください。
◇問い合わせ先 江別市生涯学習推進協議会事務局(教育委員会生涯学習課生涯学習係) Tel:011-381-1062 Fax:011-382-3434 E-mail:shougai@city.ebetsu.lg.jp

Lifelong learning
ら・ら・らフェスティバル
入場無料 申込不要

江別市生涯学習推進協議会では、会員の日頃の活動成果を市民の皆さんに発表し、体験していただく場として、ら・ら・らフェスティバルを開催します。どなたでも参加いただけますのでぜひお気軽にお越しください。

◇ステージ発表
語り・ひとり芝居ぐるーぶ うるうる亭のえべつ俄(にわか)、子ども文化ネットワーク・江別の活動紹介、江別まっことええ&北海道情報大学によるよさこい演舞の映像投影

◇体験コーナー
えべつカフェ、ボードゲームあそび、おはなし会、筆ペン体験、3B体操、クーリングオフ葉書作成、江別まち検定、ダンボールコンポスト実演 等

※その他、展示やカフェ笑くぼの軽食販売(持ち帰りのみ)も!

◇注意事項
・新型コロナウイルス感染拡大の状況により、内容の変更や開催を中止する可能性もございます。
・マスクを着用してご参加ください。
・発熱や体調がすぐれない場合は参加をお控えください。
・会場内での水分補給以外の飲食はご遠慮ください。

令和3年度 視察調査結果報告

江別創造舎 関谷 長昭

10月25日、江別市生涯学習推進協議会主催の視察調査で、コッルフえべつを視察する機会をいただきました。参加者は28名でした。大麻公民館前で待っていると明るい黄色の車体に日本医療大学と書かれた大型バスが迎えに来てくれ、目的地は大麻地区なので乗車後10分もしないで着きました。

特別養護老人ホーム内にある会議室で生涯活躍のまち整備事業と施設の概要について説明がありました。その後、介護老人保健施設内にあるリハビリ器具が設置されている場所を見学した後外に出て最初に、施設の南西側にあるパークゴルフ場、つらぶく養殖場、サービスタ付き高齢者向け住宅の食堂、敷地の北東端にあるパン工房を見学しました。その間、敷地の中央にある交流農園、交流広場、企業内保育所、入浴施設などの説明がありました。

施設全体の理念は、当初高齢者、障がい者への対応が主でありましたが、あらゆる世代との交流が必要であるとの国の考えにそって、広く市民との交流ができる仕組みづくりへと進化しました。そのため、一般の市民が利用できる催し広場とか、レストラン、温泉などが並置されています。また、会議室、パン工房のイートインスペースは一定の手続きは必要ですが、市民が利用できます。また市内4大学や地元産業、商店街などの交流にも活用することです。このような地域との連携を円滑にするために大麻地区が選定されたこと説明がありました。

私はすでに後期高齢者ですが、いろいろな世代の人が交流できる仕組みが必要だと考えています。コッルフえべつはこの意味で大いに期待できます。今後、地域住民全体の理解のもとに広い世代が交流できる中心地として高齢者や障がい者が一般市民とともに楽し

く幸せな生活を送れる施設の模範になることを望んでいます。



江別消費者協会 伊藤 祥子

好天に恵まれた10月25日(月)江別市生涯活躍のまちコッルフえべつの視察調査に参加しました。私は、今まで見学する機会がなかったのも楽しかったです。市役所本庁舎前より、日本医療大学の立派な大型バスに乗って出発し、大麻公民館から数名の参加者も乗せて向かいました。施設に近づくにつれ真新しい何棟もの建物が見えてきて、期待が高まりました。バスを降り、手洗い・手指消毒



を済ませ、会議室で担当の方から施設についての説明があり、平成27年当初の整備事業構想は中高年齢者の希望に応じた移住、住み替えの支援を行い、継続的なケアのできる地域づくりを目指すことから始まりましたが、令和2年6月以降多世代を対象をひろげ、「誰もが居場所と役割を持つ『ごちゃまぜ』のコミュニティづくり」に移行してきているとお聞きしました。

また、障がい福祉サービス関係、介護関係、サービスタ付き高齢者向け住宅、保育園、さらに、パークゴルフ場、交流広場、交流農園、つらぶく養殖場と次々開設された施設には目を見張るものがありました。現在、入居されている方がいらつしやるという事で多くの施設の見学はできなかったのですが、最

新リハビリテーション器具のある部屋には大きな窓があり、そこから交流広場や交流農園が見えて、気持ちの良い環境でリハビリができそうな気がしました。私も高齢者の仲間入りをした今、「生涯活躍のまち」「共生のまち」づくりに向けた取り組みに積極的に参加し、自分らしい納得のいく老後を探していきたいと思いつつながら帰途につきました。参加させていただきありがとうございました。



江別市食生活改善協議会 稲垣 順子

去る10月25日「江別市生涯活躍のまちコッルフえべつ」の見学会に参加させて頂きました。青空の中ナナカマドの紅葉が見事でした。庁舎前を出発し約25分



ることができました。また交流の場として「レストラン」「パン工房」「入浴施設」など好評です。「つらぶく養殖場」では稚魚も含めて千匹以上が水槽の中を元気に泳いでいる所を見学。ここは障がい者の就労施設でもあります。最後にパン工房でおいしいパンを購入し心も身体も満たされたひと時でした。共生のまち「コッルフえべつ」で多くの学びをありがとうございました。



位で大麻元町にある盲学校跡地に完成した「コッルフえべつ」に到着。マスクは勿論のこと上履きに履き替え手洗いの後、事務局の方より「江別市生涯活躍のまち」の構想から「コッルフえべつ」の始動と開始までの説明を受けました。平成29年3月に江別市民が住み慣れた地域で安心して暮らせる場所。子供や若年層、障がい者、高齢者などすべての人々との交流の中で「共生のまちづくり」という素晴らしい理念のもとに完成した施設です。施設内には介護保険施設として老健や特別養護老人ホームを始めるとし、障がい福祉サービス関係など多機能を備えている事などを知

手話をまなぼう

「病気」



「QRコード」をスマートフォン・タブレット等のQRコードリーダーで読み取っていたくと、手話の動画がご覧いただけます。今回は「病気で役立つ手話」です。



まなぼう

Vol.13

江別市女性団体協議会

会長 工藤 多希子

結成70年、研修と情報交換を目的に今日まで「研修会」「えべつ女性協まつり」「女性大会」「市長懇談会」「おもちゃ図書館」等、伝統を守り、女性が生き生きと楽しく学び、お互いを尊重し地域の中で活動を進めています。

生涯学習推進協議会のホームページ

生涯学習推進協議会のホームページでは、過去の各種事業の様子や、これらのイベントのスケジュールが見られます。QRコードからご覧ください。



《編集後記》

「コッルフえべつ」もやっと下火になるのでしよつかうでもまだまだ油断はできません。冬場はまだ猛威を振るうことも懸念されます。手指消毒や三密を避けるなどコロナ対策を継続しましょう。日常生活態度で防ぐことが大事です。油断せずコッルフに打ち勝つまで、がんばりましょう。

広報副委員長 中村 康治

これからのイベント

◆おはなしなあに (連絡先/松山:011-383-5751)

○X'mas絵本の日
日時/令和3年12月25日(土)10:30~11:30
場所/大麻公民館研修室3号
内容/いつものお話会に準じ絵本、紙芝居、おはなしパネルをX'masバージョンでたのびます。

○2022年度オープニングの日

日時/令和4年5月14日(土)10:30~11:30
場所/大麻公民館研修室3号
内容/例年5月からおはなしなあには始まります。いつもよりちょっと大がかりなイベントにする予定です。

◆江別生涯学習インストラクターの会 (連絡先/松山:011-383-5751)

○親子で遊ぼう☆ヒントがいっぱい
日時/令和4年1月29日(土)10:30~11:30
場所/野幌公民館和室1・2号
参加費/無料
講師/未定
内容/2、3才児を中心に子育て遊びのヒントを交えながら親子の遊び時間をたのびます。

○江別の食材でガレット作り

日時/令和4年2月19日(土)
10:00~12:30(受付9:30~)
場所/野幌公民館調理室
参加費/大人1,000円、中学生以下500円
内容/江別の食材を使ってガレット、ポテトサラダ、スープを作ります。9月に予定していた講座をリベンジ開催。子供の参加もOK。

◆江別市民憲章推進協議会 (連絡先/事務局:011-381-1046)

○花のある街並みづくり講演会
日時/令和4年2月2日(水)
13:30~15:30(要申し込み)
場所/野幌公民館
参加費/無料
講師/黒田正子さん
申込方法/1月12日(水)~26日(水)の平日9時~17時の間に電話により申込み
内容/ハーブを使ったガーテニングを専門とする黒田正子さんを講師に招き、ハーブの魅力に関して、ラベンダーを中心に楽しみ方・育て方についてわかりやすくお話いただけます。

◆江別市女性団体協議会 (連絡先/鈴木:011-385-3152)

○第69回江別市女性大会
日時/令和4年2月9日(水)
場所/えぼあホール
内容/映画上映と宮武玲子さんによるピアノ演奏などを行います。